

第3回五ヶ瀬川水系流域治水協議会

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

○五ヶ瀬川水系において「流域治水プロジェクトとりまとめ」に向け第3回協議会(WEB会議)を開催しました。

開催日時：令和3年3月25日(木) 16:10～17:10

参加機関：延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、宮崎県、熊本県、大分県、延岡土木事務所
東臼杵農林振興局、西臼杵支庁、林野庁 九州森林管理局宮崎北部森林管理署
森林研究・整備機構 森林整備センター宮崎水源林整備事務所、九州財務局宮崎財務事務所
気象庁 宮崎地方気象台、アドバイザー、延岡河川国道事務所

○組織拡充に伴う規約改定、「流域治水プロジェクト」における前回協議会からの変更点を確認し、流域治水プロジェクトの内容ならびに次回フォローアップ時の留意点等について意見交換を行った。

○議事内容

- ・規約改定(構成員の追加)について
- ・流域治水プロジェクト(最終とりまとめ案)について
- ・五ヶ瀬川流域における対策事例(第2回協議会からの追加分)について

○主な意見・コメント等

- ・前回より組織が拡充され、横のつながりが出来たことは非常に良い。
- ・流域治水は「皆で取り組む」事が重要
- ・キーワードは「流し、貯める、備える」と言えるのでは無いかな
- ・五ヶ瀬川流域では山地領域がほとんどを占めることが特徴であり、それらは勾配が急なため、雨水に対し高い応答性を持つことから、「ゆっくり流す」「時間差を持たせて流す」などの取り組みが非常に効果的と思われる。
- ・山間地の小流域では、棚田等を用いた貯留を行うことが、自分たちの命を守るという意識付けが大事で有り、それらを留意しつつ、今後も啓発活動を実施した方が良い。
- ・林産のための林道に起因する集水・災害等も考えられることから、森林管理の中には、林道管理も含めしっかりと議論することが大事。
- ・流域に住まわれる方々が情報を得られるよう「川の防災情報」等のサイトはしっかりと活用されるよう啓発を。
- ・流域治水の内容は、山地・氾濫域での対策も含まれるが、一方で引き続き河川対策が大事であるので、しっかり予算化も含めてよろしく願いたい。



WEB開催状況

事務局の状況

